

-(으)ㄴ/는 바

~するところ、~する事柄

非常に硬い書き言葉です。公文書や式辞で使われ、日常会話にはまず出てきません。

■ つけ方

用法	形	例
動詞	-는 바	느끼다 → 느끼는 바
過去	-(으)ㄴ 바	말씀드린 바
未来	-(으)ㄹ 바	나아갈 바
~のとおり	-(으)ㄴ 바와 같이	아시는 바와 같이
~したところ	-(으)ㄴ 바	조사한 바
分かち書き	바 は依存名詞	느끼는 바

■ 使い方と注意

事柄や内容を指します。제가 느끼는 바를 말씀드리겠습니다（わたしが感じるところを申し上げます）。

非常に硬い形です。公文書、式辞、法律文で使われ、日常会話では 것 で済ませます。日本語の「ところ」「所存」に近い改まった調子です。

決まり文句がいくつかあります。아시는 바와 같이（ご存じのとおり）、말씀드린 바와 같이（申し上げたとおり）。スピーチの定番です。

조사한 바のように「~したところ」という結果を示す用法もあります。조사한 바 문제가 없었습니다（調査したところ問題はありませんでした）。

■ 例文

- ① 제가 느끼는 바를 솔직히 말씀드리겠습니다.
わたしが感じるところを率直に申し上げます。
- ② 아시는 바와 같이 상황이 어렵습니다.
ご存じのとおり状況が厳しいです。
- ③ 조사한 바 특별한 문제는 없었습니다.
調査したところ特別な問題はありませんでした。
- ④ 앞서 말씀드린 바와 같이 일정이 변경되었습니다.
先ほど申し上げたとおり日程が変更されました。
- ⑤ 우리가 나아갈 바가 분명해졌다.
我々が進むべき道が明確になった。
- ⑥ 이는 널리 알려진 바이다.
これは広く知られていることである。

■ 紛らわしいもの

것
日常的な依存名詞です。바 は非常に硬い書き言葉に限りません。
느끼는 것（日常） / 느끼는 바（公式）

-다시피
「のとおり」で相手の認識を確認します。바와 같이 と近い働きです。
아시다시피 / 아시는 바와 같이

-(으)ㄴ 결과
「した結果」で調査などの結果を示します。한 바 と近い用法です。
조사한 결과 / 조사한 바

■ まちがえやすい点

- ✕ 느끼는바
○ 느끼는 바
바 は依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 친구야, 내가 느끼는 바는...
○ 친구야, 내 생각은...
日常会話では使いません。
- ✕ 좋은 바
○ 좋은 바
形容詞は -(으)ㄴ 바 です。